

# 条約改正への努力



※訂正  
授業プランにパワーポイントの内容を印刷した資料（B4表裏印刷したもの）と書いてありますが、正しくは『B4表面のみを印刷したもの』です。

プリントNo.40

# ◆復習：不平等条約の内容は？

相手国に（①**領事裁判権**）を認め、

日本に（②**関税自主権**）がない。

1871年、（③**岩倉使節団**）を

欧米に派遣するが失敗。

# ◇ (④ 欧化政策 )

→ 欧米人を鹿鳴館に招き、舞踏会を開く。

→ 外務大臣： (⑤ 井上馨 )



馨

## ◇ (④ 欧化政策 )

井上馨は、条約改正がうまくいかないのは、欧米諸国が日本を「野蛮な国」と思っているからだと考えた。そのため、欧米に気に入ってもらえるように欧化政策を進めた。



←鹿鳴館（ろくめいかん）

↓舞踏会の様子





左の絵は、ビゴーが描いた鹿鳴館に関する風刺画の1つです。ビゴーは日本の欧化政策をどう思っていたのでしょうか？

日本人がどれだけ着飾っても、しょせん中身はただのサル！



# ◇ 1886年、（⑥ **ノルマントン号事件**）

横浜から神戸に向かうイギリスの貨物船・ノルマントン号が、途中、暴風雨にあい、和歌山県の沖合で沈没した事件。

→ 日本人の乗客を救助しなかったイギリス人船長を**日本側で裁くことができなかった。**

# ◇ 1886年、（⑥ **ノルマントン号事件**）

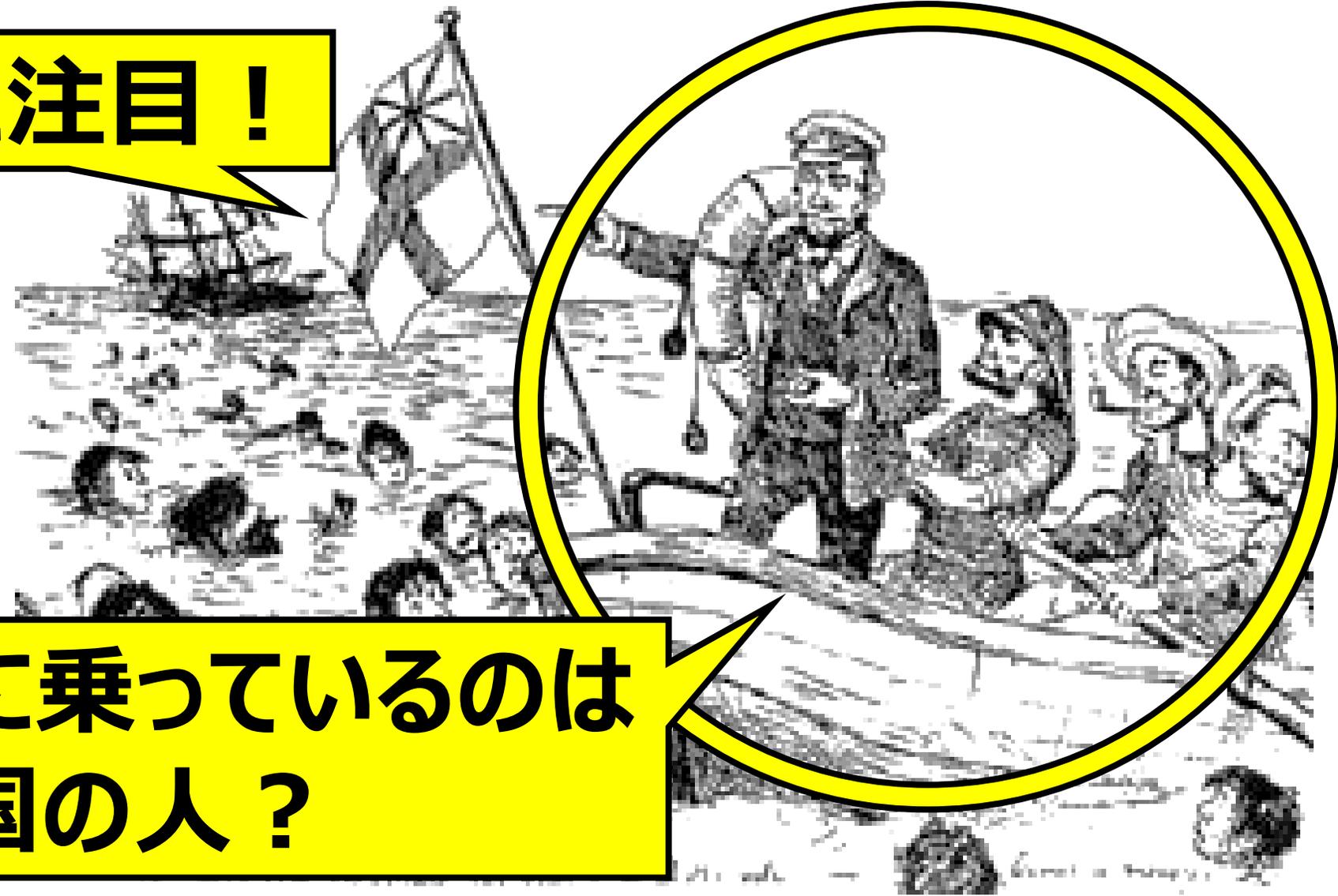


沈没した船

どこの国？

◆ 1886年、（⑥ **ノルマントン号事件**）

**国旗に注目！**



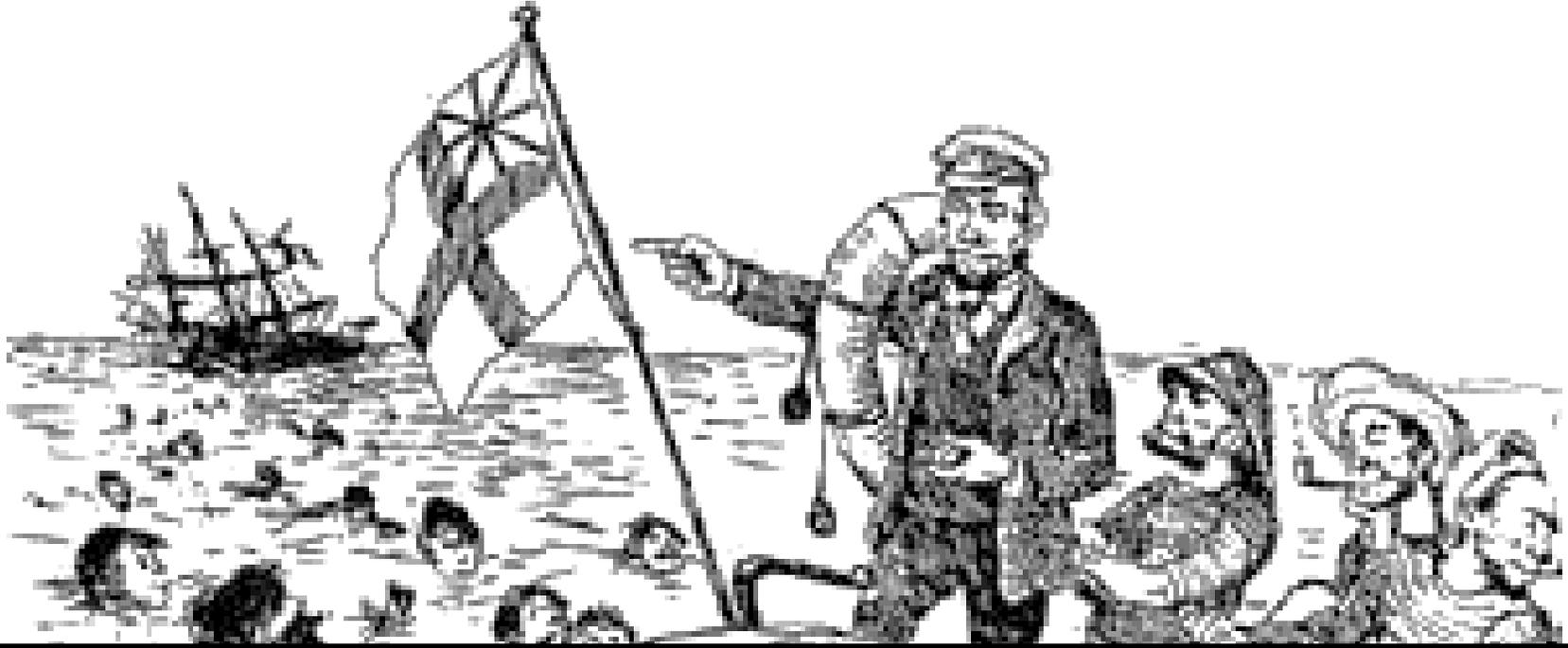
**ボートに乗っているのは  
どこの国の人？**

◇ 1886年、（⑥ **ノルマントン号事件**）



**海で溺れているのはどこの国の人？**

# ◇ 1886年、（⑥ **ノルマントン号事件**）



**イギリス人 38名、全員助かった。**  
**日本人 25名、全員死亡…。**

◇ 1886年、（⑥ **ノルマントン号事件**）

助けてほしいければ  
金を出せ！！



ドレーク船長は何と  
言っている？



# ◇ 1886年、（⑥ **ノルマントン号事件**）

ドレーク船長は裁判にかけられますが、どんな判決が下されたのでしょうか？

**無罪！！**

しかし、非難の声が上がったので、のちに懲役3か月に…。それでもドレーク船長にとっては有利な判決…。

# ◇ 1886年、（⑥ **ノルマントン号事件**）

私は船が沈没しそうになった時、日本人にボートに乗るようにすすめました。しかし、日本人は英語が理解できなかつたためか、部屋の隅に固まって動こうとしませんでした。無理に連れ出そうとすると力づくで抵抗してきたので、日本人を救うことができませんでした。

# ◇ 1886年、（⑥ **ノルマントン号事件**）

イギリス人船長は裁判にかけられますが、軽い罰ですみました。なぜそのような判決が下された？

日本がイギリスとの間に、**領事裁判権**を認める不平等な条約を結んでいたから。

# ◆1886年、(⑥ノルマントン号事件)

ノルマントン号事件後、日本国内では、不平等条約の改正を求める声が高まった！



ドレーク船長のことを「奴隸鬼」と呼び、恨みを忘れなかった。

# ◇ 1891年、(⑦ 大津事件 )

ロシア皇太子が日本人に襲われた事件。



# ◇ 1891年、（⑦ 大津事件）

政府はロシアとの関係悪化をおそれ、巡査を死刑にするように裁判所に圧力をかけた。

これに対して裁判所は、ケガで死刑は重すぎるとして無期懲役にし、**裁判所の独立**を守った。

この事件で、条約改正交渉は一時中断することになった…。